

【協力会社紹介】株式会社木村工業

○会社のモットー

当社のモットーは、基本ルールを理解し、守り、安全安心な行動をすること、会社のスローガンでもある「ハッとして ヒヤリと感じて リスクを共有 みんなで努めるゼロ災害」に取り組んでいます。



水越信也担当部長

○当社の課題

当社の課題は第一に人材の確保です。ベトナムから積極的に採用し、現在は5名の実習生と特定技能になった3名で計8名が地下鉄工事をメインに従事していますが、JR工事に従事するには特定技能が求められるため早くも5年要することから、より広範囲に人材を確保していくことが重要です。

○重点実施事項

同種事故、事象の再発防止のため、毎月部署ごとに重点実施事項を掲げて、日々事故、事象防止に努めています。

○若手育成の方針、進め方

基本ルール、基礎知識などは入社後の研修期間中に学び、現場では使用器材を覚えるため器具員数確認や器材の使い方などを指導し、現場での即戦力になれるように取り組んでいます。

○社長のコメント(木村社長)

社長職を引き継ぎ7年が過ぎました。組織・仕組みを構築し社内の風土づくりに力を注いできました。更に、海外実習生を受け入れ、当初の3名は特定技能に移行し地下鉄限定からJRの現場にも入場可能となりました。彼らはかつて日本が経済成長していた頃の若者のようです。過去には地下鉄作業において割り出し等々の事象を発生させましたが、日本人と実習生、お互いに刺激し合いながら、長年の目標であった評価点80点をいただくという相乗効果を出すことができました。

海外実習生を迎えるという前例がないことではありますが、これからも引き続き「安全」と「企業価値の向上」をモットーにし、人を大切にすることを目指していきます。



○地下鉄への歩行者専用通路敷設

昨年、総研型連軌を富沢車両基地の歩行者専用通路に敷設しました。ご存知の通り仙台市地下鉄には踏切がない為、他の在来線では当たり前ですが地下鉄では開業以来初の工事でした。いろいろな人の知恵を借り、無事工事を完遂する事ができました。



(写真) 総研型連軌敷設の様子

《職場のホープ紹介》

○遠藤 弘賢(えんどう ひろのり) 34歳

新卒で入社し、今年で16年目になります。主に地下鉄工事に従事しており、現場では作業指揮者(軌工管)を行っていましたが、今年MCの資格を取得したことでMC指揮者、MCOPにも従事するようになり、さらに幅広く活躍しています。今後いろいろなことにチャレンジし、本人のスキルアップに繋がってほしいと期待しております。



《鉄道経験》16年

《特技》特になし

《趣味》電車、飛行機の写真を撮る

《夢》車で日本一周をしてみたい

《抱負》安全最優先で作業を行います

○グエンティエン トゥン 29歳

2018年(平成30年)に実習生として入社してから5年9カ月が経ち、特定技能者になりました。実習生の中では兄貴分のような存在で、現場でも進んで作業を行っています。今年は地下鉄での削正の資格を取得し、頑張っています。今まで以上に後輩たちを引っ張ってくださることを期待しています。



《鉄道経験》5年9カ月

《特技》特になし

《趣味》旅行に行くこと

《夢》世界中多くの国を旅行する

《抱負》基本ルールを守ります